

県民の森 植物紹介 ④8 カンザン (バラ科 サクラ属)

新緑の頃に咲く、遅咲きのサクラです。別名「関山（せきやま）」。八重咲きで花弁は20枚から多いものは50枚を超えます。赤みが強いピンク色の豪華な花はとても印象に残ります。江戸時代、オオシマザクラを基に誕生し、東京の荒川堤に植樹され全国に広まったと言われている栽培種。八重咲きの最も一般的なサクラとして、街路樹や公園に植樹され親しまれています。開きかけの花は塩漬けにして加工して、桜湯（桜茶）や、パンやお菓子の原料として利用されています。

秋の紅葉は遅く、ちょうど初雪が降るころ。他の木々が葉を落とした中で、オレンジ～透明感のある鮮やかな赤に染まり、遠くからでもよく目立ちます。雪景色と紅葉のコラボレーションは、息をのむ美しさです。

県民の森では、みんなの広場に並木があり、清らかな八幡平の山々を背景に楽しむことができます。



芽吹き 2020年5月6日



花 2020年5月23日



満開の花と新緑 2020年5月25日



紅葉と雪景色 2020年11月10日